

報 道 資 料

平成30年10月16日（火）

教 職 員 課

小中人事係

係長 林 田 晃 典

県立人事係

係長 中 川 さ や と

ダイヤル 0742-27-9846

(内線) 5241・5247

平成30年度奈良県公立学校優秀教職員表彰について

県内の市町村教育委員会教育長及び県立学校長から推薦のあった「奈良県公立学校優秀教職員表彰候補者」について、外部委員7名で構成する「奈良県公立学校優秀教職員表彰選考委員会」での選考を経て、本年度下記のとおり9件の教職員及び教職員グループを「奈良県公立学校優秀教職員」として決定し、教育長が表彰することとしました。

記

1 表彰の目的及び趣旨

この表彰は、教職員の意欲の高揚と、学校の活性化を図ることを目的として、職務に精励し、他の教職員の模範となる教育活動を実践している教職員及び教職員グループを対象として実施しています。また、県内の学校の活性化に資するため、表彰実践事例を県内の教育関係者に紹介するとともに広く公表しています。

本県では、平成16年度から奈良県公立学校優秀教職員の表彰式を挙げており、本年度は第15回目の表彰を行います。

2 平成30年度表彰の概要

- (1) 候補者件数 …… ○9件
- (2) 選考基準の例 …… ○学習指導における特に顕著な成果
○生徒指導、進路指導等における特に顕著な成果
○学校体育や学校保健、学校給食における特に顕著な成果
○特別活動や部活動等の指導による、児童生徒の育成における特に顕著な成果
○特別支援教育における特に顕著な成果
○地域との連携・協働の推進における特に顕著な成果
- (3) 選考結果 …… ○9件（小学校4件、中学校2件、県立学校3件）
○表彰分野は、「学習指導」「生徒指導」「地域との連携・協働」等
- (4) 表彰式 …… ○10月19日（金）（奈良県教育週間関連行事）
○16時00分から県庁主棟5階の第一会議室で挙

3 今後の予定

- (1) 年度内に、表彰実践事例を教育委員会のホームページに掲載する。
- (2) 表彰実践事例を県内の教職員に紹介するとともに、優秀教職員を研修会等の講師として活用する。

4 具体的な表彰実践事例（代表3例）

(1) 子どもたちが楽しく学習に取り組み、生き生きとした学校生活を送るために、教員の授業力を高めるための取組を積極的に推進した小学校教諭の事例。

教員の世代交代が進む中、研究主任や学年主任として、教員の授業力向上に向けた取組を計画的・継続的に行ってきた。「小1プロブレム」に対しては、1年生のスタートカリキュラムを大切にするため、入学前から担任が幼稚園を訪問し、保育の様子を見ながら声かけや支援の仕方、園児との遊び方を学び、入学後は学びの連続性を意識した授業が行えるように研修等で主導的役割を果たした。

また、学年を追うごとに児童がつまづいた際は「まなびタイム」において学年の教員全員が支援している。現任校では、これまで互いに授業を観察する機会が少なかったが、すべての授業を公開する「授業力向上ウィーク」を実施し、教員一人一人が無理なく授業を見学して意見交換できる仕組みを提案し、教員個々の授業力が高まるなど成果を上げている。

(2) 不登校生徒等、支援を必要としている生徒に寄り添い、共に次の一步を見いだす取組を積極的に推進した中学校教諭の事例。

教育相談部長として、生徒指導部、特別支援教育部とも連携を図り、全職員の共通理解を得ながら、不登校の克服に向けて組織的な教育相談活動を推進してきた。教育相談部会で情報共有を徹底し、スクールカウンセラーの専門的な意見をもとに協議しながら、校外の適応指導教室や支援センターとも連携して適切な支援につなげている。昨年度から校内に設置された「ステップルーム」では、一人一人にあったカリキュラムを考えてきめ細かく対応し効果が表れている。

また、現任校では今年度「話を引き出すコミュニケーションの基本」をテーマとした臨床心理士による校内研修を行い、2学期当初、全校生徒を対象に全教員が二者面談を実施している。教育相談の視点がこれまで以上に学校の教育活動の中で広がりを見せており、課題を抱える生徒の早期発見につなげるなど成果を上げている。

(3) 総合的な学習の時間「吉野熊野学」の授業体系確立に尽力し、来年度から新設される「ふるさと共生コース」の立ち上げにも中心的役割を果たした県立学校教諭の事例。

着任以来、総合的な学習の時間「吉野熊野学」に携わり、学校所在地である十津川村及びその周辺地域に深い理解と愛着をもち、その美点を内外に発信できるような生徒の育成に取り組んできた。地域コミュニティの協力を積極的に活用することで、生徒が年間を通して計画的に探求活動を行える体制を構築し、生徒の課題解決能力やコミュニケーション力の向上につなげている。

また、教務部長として、普通科のコース改編に取り組み、来年度新設される「ふるさと共生コース」の立ち上げに尽力した。ボランティア活動（観光・福祉・被災地支援等）や防災活動を実践する新しい学校設定科目「ふるさと学」を新設し、将来、十津川村や県南部地域のみならず、各地域の活性化に貢献できる人材育成を進めていく道筋をつけることに大きく貢献した。